

2021/9/23

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(9月13日～9月17日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,170.6	1,180.1	1,166.0	1,175.0	+5.9
JPY/KRW	10.6496	10.7512	10.6318	10.6945	+0.058
KOSPI	3,117.35	3,167.68	3,109.01	3,140.51	+14.75

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。10日海外時間に発表された米8月PPIが予想以上に高い数値であったことからドル買いとなり、13日のドル/ウォンは1,170.6ウォンでオープン。この週も特段目立ったイベントがない中、あまり良くない市場のリスクセンチメントを受けてドル/ウォンは1,175を超えて上昇した。14日、15日にかけては先週大きく下落した韓国IT大手プラットフォーム企業に対し押し目買いが入るなどウォン買い需要が生まれたことで、ややドル/ウォンも反落。15日海外時間にはデルタ株の感染拡大による米景気回復の鈍化懸念を受けたドル売りが優勢となったことから、16日開始直後にドル/ウォンは週安値1,166.0まで下落するも、この水準では実需のドル買いが入り反発した。さらに中国不動産企業の不渡り懸念からアジア株全般が売られるリスクオフムードとなったことで週末にかけドル/ウォンは上昇する展開となった。結局、先週末対比5.9ウォン上昇の1,175.0ウォンにてクローズ。

来週までの見通し

今週のドル/ウォン相場は底堅い展開を予想する。FOMCでは新型コロナデルタ株による景気減速は認めつつも、引き続き力強い景気回復が期待できるとし、今年中のテーパリング開始、2022年中の利上げ開始を予想する内容となっている。これを受け市場全体でドル買い優勢の展開となっており、ドル/ウォンも上昇することが予想されよう。来週は月末の実需のウォン買いも期待されるものの、それでもドル/ウォンは底堅く推移する展開を予想する。

(9月27日のWeekly Reportはお休みします。)

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1170 ~ 1195	10.60 ~ 10.90	109.0 ~ 111.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(木) 欧 9月 サービス業PMI 速報値
- 米 9月 サービス業PMI 速報値
- 米 9月 製造業PMI 速報値
- 欧 9月 製造業PMI 速報値
- 24日(金) 日 8月 CPI
- 米 8月 新築住宅販売件数
- 27日(月) 米 8月 耐久財受注 速報値
- 28日(火) 米 9月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 速報値
- 30日(木) 日 8月 鉱工業指数 速報値
- 米 2Q GDP 確定値
- 中 9月 製造業PMI 速報値
- 中 9月 非製造業PMI 速報値
- 1日(金) 米 8月 個人所得
- 米 8月 個人消費
- 日 8月 失業率
- 米 9月 ISM製造業景況指数 速報値
- 日 3Q 日銀短観